

フィリピントヨタ御用組合 (T M P C L O)

「唯一の団体交渉権」獲得の選挙申請！

の二名も参加します。むろん、この計三名はILO総会では傍聴権しかありません。しかし事実上彼等は奥田以上の「影の」主役です。世界の労働組合の代表達はみんな製造業世界NO1グローバル企業トヨタと四五〇名のフィリピントヨタ労組の争議を知っています。この争議を極めて重要だと考え、その行方に注目しています。だからこそ小さなフィリピントヨタ労組が多く大きな労働組合の代表と交流出来るのです。むろん、地域の組合に支えられた、全造船関連地協のトヨタへの団体交渉要求、労働委員会への不当労働行為救済申し立てもまたフィリピン政府とトヨタに対する大きな圧力になっています。しかしこれらの圧力は更に強化され、二倍にも三倍にも、一〇倍にもされねばなりません。

フィリピン労働雇用省

選挙申請を受理する！

フィリピントヨタには組合が四つあります。一つは管理職の組合です。一般労働者の組合は三つで、現在はフィリピントヨタ労組がこの中で唯一団体交渉権を持っています。それは二〇〇一年三月の団体交渉権獲得選挙で過半数を獲得して勝利したためです。この団体交渉権の期限は法律上五年で、新たな団体交渉権獲得のための選挙申請はこの期限終了の六〇日以前は受けつけないことになっています。

フィリピントヨタは、フィリピントヨタ労組以前にも二回組合を潰した経験を持っています。そして管理職組合と地域の御用組合にあらゆる便宜を与えて時間をかけて一般労働者の御用組合を育成してきました。トヨタは今年二月この御用組合 T M P C L O に団体交渉権獲得のための選挙申請を出させました。労働雇用省はなんとこれをすんなり受理して、今フィリピントヨタ労組も含む当事者からの意見を聞いています。また、トヨタ側はついにトヨタ自動車労組

を投入してきました。四月トヨタ自動車労組の副委員長と経営対策局長が御用組合 T M P C L O を訪問し、激励しました。

国際支援の輪の拡大を！

トヨタへ更なる圧力を！

今後情勢がどのように動くか流動的です。しかしフィリピントヨタ労組が団体交渉を一度もやらないまま、御用組合が団体交渉権を獲得するなどということを決して許してはならないことは明らかです。

これは決してフィリピン労働者だけの問題ではありません。これは日本を代表するグローバル企業トヨタと世界の労働者、農民、市民などの攻めぎ合いなのです。日本の労働者、とりわけ中小企業・非正規労働者の明日がかかっています。私達が世界で敗北し続けるなら、私達は日本ではもっと大きく負け続けることになります。現在の日本の非正規労働者の無権利・不法状態は、資本主義がまだ発展途上にある諸国などの無権利・不法状態の反映なのです。資本のグローバル化とその競争によって、先進資本主義諸国労働者の労働条件だけが全体としてよくなるという時代は終わったのです。

フィリピントヨタ労組をあらゆる方法で支援し、トヨタとフィリピントヨタ、そしてフィリピン政府、日本政府に、もつと広汎でもつと強力な圧力をかける必要があります。今年九月のフィリピントヨタ労組工ド委員長の来日を機に、フィリピントヨタ労組を支援し、トヨタに圧力をかける日本キャンペーンを大きく行おう！ 更に、グローバルキャンペーンを！ そして、このキャンペーンを拡大し、グローバル企業トヨタに絶対に勝利しよう！

まず「フィリピントヨタ労組

を支援する会」に入ろう！

年会費 個人 一口五千元

団体 二口一万元